

令和5年度 認知症地域支援推進員の活動

資料2-1

●目標

これまでの取組みを振り返り、次期計画（第10次すこやか長寿プラン21）の策定に向けて取組の方向性を明らかにする。

●具体的な活動内容

	目標	具体的活動
①	認知症当事者の居場所づくりの検討	●あしやの会(認知症当事者の会)の開催継続 ●認知症当事者以外も含めた拠点づくり
②	認知症の人への支援体制構築に向けた関係機関との連携会議の開催	●医療関係者との連携構築 ●若年性認知症の方の支援
③	認知症に関する正しい知識の普及啓発	●アルツハイマーデーイベント ●ステップアップ講座開催

① 認知症当事者の居場所づくりの検討 ～あしやの会の活動支援等～

【①現況】

認知症の人やその家族が気軽に集える居場所が、市内に少ない→定期的にあしやの会(当事者の会)を開催

【②課題と目標】

あしやの会に来られる当事者が少ない。



当事者の把握と会の啓発、定期開催を行い、認知症当事者の居場所づくりに発展させる。

【③対象者】

認知症の当事者と家族

【④取組体制】

担当:潮見

【⑤具体的な取り組みとスケジュール】

奇数月の第3金曜日(年間計5回)

昨年は福祉センターで開催していたが、出張型も検討中。



① 認知症当事者の居場所づくりの検討 ～拠点カフェの開催支援等～

【①現況】

『さくらカフェ@ふらっと』を毎週土曜日PM開催中。
認知症がある方もない方も、ひとり一役さんや学生さん達と一緒に運営を考え、多世代の繋がりができる居場所として活動中！

【②課題と目標】

課題:参加者は高齢の方が多く、介護者の世代や子ども世代の関わりが少ない…。
また、認知症当事者も参加は少なめ…。

→今年度の目標

若い世代へ働きかけ、若い世代の参加者を増やそう！
認知症の理解を深めて当事者や家族が安心して参加できる居場所に！

【③対象者】

介護者世代や
アクティブシニア世代
認知症のある方



【④取組体制】

・西山手・東山手の山手地域の支援センターを中心に認知症疾患医療センターなどの関係機関との協働体制



【⑤具体的な取組みとスケジュール】

- ・若い世代、予防世代への働きかけ
 - ・当事者・当事者家族への参加の呼びかけ
- 【1】「あしや認知症 ちよっときいてみよう」
5/13 :「認知症の気づきと早期受診」
10/14:「予防世代に必要な知識と若年性認知症」
2/10 :内容未定
- 【2】「プチ夏祭りで多世代交流」withさくらカフェ
8/19

① 認知症当事者の居場所づくりの検討 ～拠点カフェの開催支援等～

【①現況】

オレンジカフェの開催支援として、R4年度に認知症疾患医療センターの相談員を招き、イベントを行った。また、認知症カフェの啓発を各包括と連携しながら行ってきた。



【②課題と目標】

- 現在のオレンジカフェの啓発を引き続き行い、地域の居場所としてたくさんの方に利用してもらえるようにする。
- 潮見圏域においても認知症の方が気軽に集える居場所を作る。

【③対象者】

芦屋市民

【④取組体制】

オレンジカフェ 潮見・精道
つなぐカフェ(仮) 潮見

【⑤スケジュール】

- オレンジカフェ 10月イベント企画
オレンジカフェ開催支援(随時)
- つなぐカフェ 8月より準備開始
10月～定期開催実施を目指す

【⑥具体的な取組み】

- 10月のオレンジカフェイベント企画を認知症疾患医療センターと調整
- 潮見圏域での居場所づくり。
オイルマッサージ等ボランティアの協力を得ながら、定期開催して行く。



② 認知症の人への支援体制構築に向けた 関係機関との連携会議の開催 ～関係機関との連携会議の開催～

【①現況】

- 認知症の人のうちでも特に、若年性認知症の人への支援が多方面にわたるためスムーズに行うことが難しい。
- 医療機関にどの程度若年性認知症の人が受診しているのか把握できていない。

【②課題と目標】

医療との顔の見える関係づくりを行い認知症関連の取り組みをスムーズにする。

【③対象者】

医療機関・包括・認知症支援推進員等

【④取組体制】

西山手

【⑤取組体制】

兵庫医大との事例検討

【⑥スケジュール】

7月	東山手	事例検討会
9月	精道	//
12月	潮見	//
3月	西山手	//

【⑦具体的な取組み】

- 兵庫医大との事例検討の継続実施
- 医療機関との意見交換会の実施検討
- ほっとナビ、若年性認知症パンフレット等の関係機関への配布

② 認知症の人への支援体制構築に向けた 関係機関との連携会議の開催

～『芦屋市若年性認知症ネットワーク会議』の立ち上げに向けて～

【①現況】

- ・R4年度に関係機関が集まりネットワークの構築や支援の質の向上を目的に何ができるかを検討
- 『芦屋市若年性認知症ネットワーク会議』をツールとして支援する「仕組み」の策定を目指すことに…

【②課題と目標】

・課題:

- 若年性認知症の方への支援が多方面にわたリスムーズにいかない
- 支援機関の連携する仕組み(うつわ)がない

↓

・目標:

- 若年性認知症ネットワーク会議が立ち上がり、多機関協働での支援の仕組みと連携が促進される

【③会議の機能、連携機関と取り組み体制】

・会議の機能

- 1.個別支援会議(都度開催)
チーム体制で支援ができる体制を構築
- 2.システム検討会議(年2回程度)
構成機関の連携の構築と促進、社会課題の抽出、社会資源の創出に関する協議・検討



【④具体的な取り組みとスケジュール】

1.芦屋市若年性ネットワーク会議の開催

- ・R5秋頃を目途にネットワーク会議にて個別支援会議の開催方法について協議・決定
- ・R5年度内に個別支援会議の実施(1件以上)
- ・R5年度末にネットワーク会議にて評価、今後の展開についての協議を行う

2.若年性認知症啓発リーフレットの関係機関への配布

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
若年性認知症ネットワーク会議			構成機関連絡調整 様式等準備	→	→		ネットワーク会議		→	個別支援会議		ネットワーク会議
若年性認知症啓発リーフレット配布	適宜配布	→										

③ 認知症に関する正しい知識の普及啓発

【①背景】

認知症の理解を深め、当事者が住みやすい地域づくりを展開する必要がある。

【②課題と目標】

認知症カフェとも連携しながら、広く市民に認知症について啓発する。

【③対象者】

芦屋市民

【④取組体制】

精道

【⑤スケジュール】

7月 福祉フェアにおけるパネル展示
9月 アルツハイマーデーに合わせた企画
3月 ステップアップ講座企画

【⑥具体的な取組み】

7/15福祉フェアにおいてパネル展示
(認知症カフェの案内も行う)

- 9月のアルツハイマーデーにおいて図書館(本館)にて認知症に関する書籍の展示・貸出・紹介を行う(あじさいの会にも協力要請)合わせて、認知症についての啓発や認知症相談センターの啓発もパネル展示ちらしを置かせてもらい啓発予定



- 9月のアルツハイマーデーにおいて認知症カフェ連絡会と協働でイベント等を企画
- ステップアップ講座企画
認知症の方に普段接している方の話を聞いていただけるよう企画
実際に認知症の方と接していただく機会やボランティア等につなげていったり、高齢者施設内での傾聴ボランティアなどの活動につないでいく。

